



秀養邦海

文武
両道

2020.04.21
第2号
進路指導部

文理選択・科目選択について考えよう（1・2年生版）vol.1

1学期は、1，2年生のみなさんにとって重要なことがあります。それは「類型・科目選択」です。

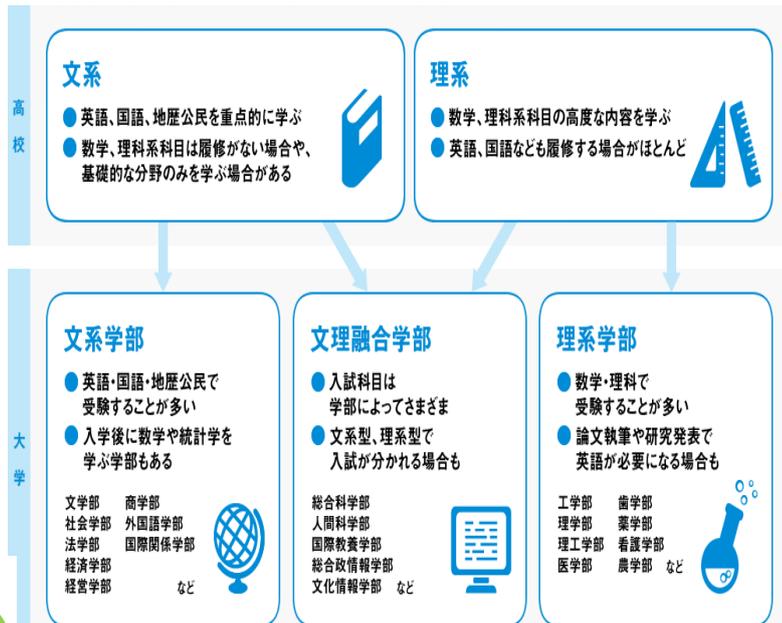
1年生は、1学期のうちで理系か文系のどちらに進むかを決め、選択科目を決定しなければなりません。今後学んでいく分野を決めることは、大学進学のみならずその後の人生にも影響するという意味で、大変重要です。しっかりと情報収集をした上で周囲の人にも相談しつつ、じっくり検討するようにしましょう。周囲のアドバイスもあるかと思いますが、何よりも大切なのはあなた自身の適性把握と、将来の職業を見据えた人生設計なのです。

文理選択と大学進学

高校で文系・理系のどちらを選ぶかは、大学で学ぶ分野や受験する学部と関わってきます。

学部は文系・理系・文理融合系に分けられ、文系学部への進学を希望する場合は文系、理系学部への進学を希望する場合は理系を選択するのが基本。文理融合系の学部は、どちらを選んでも受験できることがほとんどです。

※あくまで一般的な例であり、高校や大学によって異なります。



文理選択成功のポイント

(マイナビ進学/高校生のための進学ガイドより)

①将来就きたい職業から考えよう。

学生時代に文系の学問を学んでいたか理系の学問を学んでいたかで、就職できる仕事の種類が制限される可能性があります。医者を目指すなら理系コースを選択し医学部に進学する必要がありますし、弁護士を目指すなら法学部に進学するために文系コースで学ぶのが一般的です。明確な志望職業がない場合でも、どういった分野で働きたいかという希望があれば、文理選択の判断材料にすることは可能です。



②学びたい学問から考えよう。

将来の職業まではまだ考えられていないという場合は、今後どういったことを学びたいのか考えてみましょう。学びたいことがあれば、志望する学部を絞り込むことができますし、学部が固まれば入試に必要な科目などからコースを選ぶことができます。

③趣味や興味のあることから考えよう。

将来の職業や学びたいことという基準だけでは決められない人は、自分が好きなものが何か考えてみましょう。例えばパソコンを触ったり天体観測をしたりすることが好きなら、情報科学や天文学を学べる理系、小説を読んだり歴史を学んだりするのが好きなら、文学や歴史学を学べる文系など、好きなものから自分が何に関心を抱いているのか見極めることができます。ちょっとしたことでも、学びたいと思える分野を見つけるきっかけとなります。

